

# 「 HCV 抗体陽性者に対する多職種院内連携の有用性の検討（後ろ向き研究） 」

## 1. 研究の対象

2017年11月1日から2025年10月31日に当院でHCV抗体陽性であった方。

## 2. 研究の背景・目的・方法・期間

### 〔背景〕

C型肝炎は治療の進歩によりウイルスの完全排除が可能となってきました。しかしながらHCV抗体陽性者のうち消化器内科に受診されず治療がされていない患者さんが存在し問題となっています。

### 〔目的〕

当院でHCV抗体陽性者の方の消化器内科での受診状況を後方視的に調査し、HCV抗体陽性者の方の消化器内科受診に対して肝炎医療コーディネーター等による多職種院内連携の取り組みの有用性について検討します。

### 〔方法〕

当院でHCV抗体陽性者の方の背景、検査・治療に関連した事項などを過去のカルテから各種情報を抽出することで、多職種院内連携の有用性と問題点を検討します。

### 〔期間〕

倫理委員会承認後から2027年3月31日

## 3. 研究に用いる資料・情報の種類

電子カルテから下記の情報を抽出します。

患者基本情報（年齢、性別、基礎疾患、既往歴、内服薬、治療歴）、血液検査所見（HCV抗体検査、HCV-RNA、肝機能検査）

## 4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの氏名およびIDを削除し、代わりに新しく符号または番号を付けて仮名化处理を行い、個人を特定できないようにします。また、それらの抽出データは、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者（竹内健人）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院外への発表が行われてから10年保管し、適切に廃棄します。

## 5. 本研究に用いた情報の二次利用、外部への試料・情報の提供について

本研究で得られた情報は、今回の研究目的以外に使用することはありません。また、収集した試料や情報を外部へ提供することはありません。

## 6. 研究成果の公表について

本研究の結果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報が入らないよう配慮し、今回の研究目的以外に使用することはありません。

## 7. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター 消化器内科 竹内 健人

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター 消化器内科 赤松 尚明

## 8. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。また、本研究対象に該当するかたで、本調査へのご了承が得られない場合（診療録を見られたくないなど）は、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、2027年3月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター 消化器内科

竹内 健人（研究責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151